

## 2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 津幡町立中条小学校 ] 担当教諭名 [ 竹森 千華 ] ( 6年2組 29名 )  
 交流相手国 [ アラブ首長国連邦 ]  
 海外学校名 [ Dubai International Academy ] 担当教諭名 [ Ms. Anupama Ramachandran ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	広げよう世界を見る目	20
	国語	自分たちの町のパンフレットを作ろう	4
	図画工作	アートマイルの絵を描こう	3

### ■作品について教えてください。

題 (テーマ)	友好の架け橋
絵に込めたメッセージ	自己紹介カードやビデオでの交流を通して、ドバイの小学生のことを知ることができた。その仲良くなった友だちを、自分たちの住んでいる町、県の自慢の場所に招待して遊んでいる絵を想像して描いた。友好の架け橋として虹を描き、日本とアラブ首長国連邦が繋がっているようにした。
	

### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちになるために、外国語を使いたいという必要感から、外国語活動に対する意欲が高まった。</li> <li>・自分の地域、そのよさについて、もう一度見つけ直す機会となった。また、相手の国を理解し、違いを知ることができた。</li> <li>・外国に特別な友だちができたことに大きな喜びを感じていた。</li> <li>・相手国の友だちのことを思いながら、ビデオ・カード・プレゼント・絵の内容を工夫することができた。</li> <li>・学級内での協力する気持ちがより高まった。</li> <li>・大きな絵をみんなで描き上げたことで、達成感と満足感が得られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通した見通しを自分がもてていなかったことで、活動の意識が途切れ途切れになってしまった。</li> <li>・お互いの学校・国のことについてもっと情報交換や交流ができるとよかった。</li> <li>・双方向的な交流ができるとよかった。</li> <li>・絵の構図決めが日本主導となり、交流相手がどのような絵を描きたかったのか、意見をあまり取り入れることができなかった。</li> <li>・絵が期日に届かなかった。</li> </ul>

### ■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲストティーチャーによる授業を、授業参観で保護者にも見てもらった。</li> <li>・取り組みの様子を、授業参観、卒業式の時にプレゼンで紹介したり展示したりした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下級生から、「すごい。」という反応をもらい、喜んでいました。保護者の方からも、国際的な視野が広がる取り組みだという意見が多く寄せられた。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	6月	ゲストティチャーを呼んで「世界がもし100人の村だったら」のワークショップを体験する	世界にはいろいろな言語や人種があること、食べる物に困っている人も多くいる人などを体験から学び、もっと外国のことを知りたい、国際交流してみたいという意欲をもっていた。	総合2
情報収集	6月 7月 10月	国語で住んでいる町・県の自慢を紹介するパンフレットをつくる 相手校から自己紹介カード・ビデオを受け取る 自己紹介カード・ビデオを作り送る(自分の好きなもの、誕生日などを紹介)	ドバイの友だちは、様々な人種の人がいることを知り驚いていた。そこから、友だちやドバイの町に対する興味がさらに高まった。相手に日本のこと、自分たちのことを知ってもらいたいと、ビデオではジェスチャーでも伝え、カードでは絵を工夫するなどしていた。	国語4 総合8
テーマ検討	11月	絵の構図を一人一人が考え、みんなの意見を集約する 相手校に掲示板で構図や内容を相談、提案	「自分たちの町・県の自慢を紹介したい」、「そこでドバイの友だちを遊ばせたい」「ドバイと日本を虹でつなげたい」と、学級内で出た様々な意見をうまくまとめながら、協力して構図を考えていた。	総合4
制作	11月	グループごとに分かれて絵を制作 自分がペアになったドバイの友だちの絵を日本側の絵の中に描き入れる	役割分担をしたり協力したりしながら、楽しそうに描いていた。 ドバイの友だちの表情を写真で確認したり、ビデオで感じ取った個性を話したりしながら、日本側の絵のどこに描くか、熱心に相談していた。	総合5 図工3
鑑賞	3月	絵は期日には届かなかったので、掲示板に書き込まれた中の写真を見てアートマイルを振り返る	ドバイの友だちが自分たちの絵の続きを描いていてくれることを大変喜んでいました。	総合1

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	B	4	ドバイの友だちに伝える事柄として、何が興味をもってもらえるか、自分の町のよさは何か、しっかり考え調べていた。
異文化の理解	B	4	いろいろな人種の人がいることから、ドバイの発展・文化・自然・産業などに興味が広がっていき、意欲的に調べていた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	4	ビデオでは、英語で自己紹介したり、ジェスチャーを工夫したりして意思疎通を図ろうとしていた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	3	インターネットを使って日本、そしてドバイの様々な情報を集めることができた。しかし、それをまとめることがうまくできなかった。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	4	学級2名に、ドバイの友だち1名というペアを作り、「スペシャルフレンド」としたことで、その子のことをより知ろう、学級の友だちと協力しようとしていた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	個性を生かしながら、クリスマスカードのデザインを考えたり、構図を考えたり、絵を描いたりすることができた。ドバイとの協働となる工夫が必要だった。
学習を追究する意欲	C	4	最後まで、ドバイの友だちと本当に仲良くなりたい、その成果として絵を完成させたいと意欲をもっていた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	4	絵の構図決め、その集約、下がきは役割分担をし、全員が表現する場を保障したことで、一人一人の表現力が高まった。
作品を鑑賞する力	C	2	実際に見ることができなかったのを残念がっていた。